

第 16 回本試験ケースでロープレ

2026 年度 1 級面接試験 評価区分と試験実施概要を意識しながら 30 分で方策の実行を確実にできるようにする講座

第16回本試験ケースを用いて、30 分のロープレで必要とされている傾聴、育成的関係、一般化、目標設定と合意、方策の実行をやり遂げます

東京	2026 年 11 月 28 日(土)	会場:全労連会館 御茶ノ水	午前コース	9:15～12:30	受講料(税込)	10,000 円
			午後コース	13:30～16:45		10,000 円
特長	・1日通しのコース(6時間30分)でも、短時間で集中の午前コース・午後コース(3 時間 15 分)でも、選択することができます。 ・この講座は、「30 分の面談で目標設定まで行かずに終わってしまう」「問題把握をしても方策まで進んだことがない」「ロープレを今どこまで進めているか分からなくなる」など、多くの受検者が合格に至る過程で抱えてしまう問題を解決するものです。 ・本講座はそれらの問題の解決に向け、面談の流れを中心に、見立てと気づき、目標の設定と提案、方策の実行についてアドバイスを差し上げます。 ・ほかに受講者のロープレを目のあたりにするので、自分と比較しながら臨場感あふれる体験をしていただきます。 ・受講者からの質問など、ロープレで事例相談者として対応する講師が対話形式でお受けしながら、進行します。 ・第 16 回の本試験ケースを使い 30 分のロープレで方策まで進めていく体験をしていただき、面談のプロセス全体を完成させます。 ・試験実施概要に書かれている「システマティックアプローチのプロセス」を自身のロープレで順を踏んで進めているかの確認をします。 ・評価区分の内容理解と対応など、今困っていることや、あやふやな知識について、クリアにする時間にもなります。					
	・講師とのロープレは、本試験のケースの見立てと対処法などを理解するとともに、自身の面談状態を客観視することができます。 ・30 分の面接試験で「意識すること」と「出来ていることできないでいること」を客観視し、ご自分の「クセや偏り」を一般化して理解します。 ケースが到着したからと、勉強仲間とロープレをする前に、講師からの指導を受けられることをお勧めします。					

